富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山県フロラに追加される植物

著者	石須 秀知
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	22
ページ	151-152
発行年	1999-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=721

富山市科学文化センター研究報告第22号，pp.151－152（1999）

短　　報

富山県フロラに追加される植物

石須　秀知
魚津埋没林博物館
〒937－0067　富山県魚津市釈迦堂814

New Records for Flora of Toyama Prefecture

Hidetomo ISHIZU

富山県のフロラに追加すべき植物６種を確認したので報告する。標本はすべて筆者が採集・同定し，富山市科学文化センター（TOYA）に収蔵されている。

標本の同定を確認し，過去のデータ等についてご教示をいただいた富山市科学文化センター太田道人氏に厚くお礼申し上げます。

オオフジシダ　　（コバノイシカグマ科）
Monachosorum flagellare（Maxim.ex Makino）Hayata

富山県魚津市片貝川南又谷　右岸斜面　標高770m
1996年10月23日
標本番号　TOYA－Pt－12270

本種の国内での分布は，岩槻（1992）では栃木県および中部地方以西，光田（1986）では栃木－新潟以南とされているが，富山県では未記録であった。

採集地の片貝川南又谷は，地元で“洞杉”と呼ばれているアシウスギの古木の生育地として知られ，周辺の斜面には径２m以上の大型の転石が点在している。本種を採集したのはそのような大小の転石が組み合わさった１m×１mほどの陰湿な場所で，蘚苔類が密生した中に10株前後が生育していた（図１）。伸長した葉の先端に新株を形成している個体もあり，この集団はおもに栄養繁殖で形成されたと思われる。

図１．オオフジシダ

1995年に最初に発見してから毎年同地で追跡確認している。現在のところこの１地点のみで，個体数は少なく面積も小さいが，生育状態は良好である。しかしながら，この地点の周囲はスギの若い植林で下草刈りや枝打ちが行われており，さらに10mほどしか離れていない場所にこの地域で最大とされる“洞杉”の株があって訪れる人も多く，生育地の撹乱が心配される。

南又谷ではこれまでに，コケシノブ，ホソバコケシノブ，コウヤコケシノブ，ヒメハイホラゴケ，ウスヒメワラビ，ヒメサジランなど県内では希少な種を含む暖地性のシダも確認している。空中湿度が高く，谷の地形が冬の季節風をさえぎるなど，環境がこれらのシダの生育に適しているものと思われる。

ハマチャヒキ　　（イネ科）
Bromus mollis L.

富山県魚津市六郎丸　農道脇　標高60m
1997年６月９日
標本番号　TOYA－Sp－53732

帰化。比較的新しく改修された用水に沿った未舗装の農道で，オニウシノケグサ，スズメノチャヒキ，シナダレスズメガヤ，ナギナタガヤなどの背の高い雑草群落の縁に，ノハラムラサキ，ツルスズメノカタビラなどとともにまばらに生育していた。

キレハイヌガラシ　　（アブラナ科）
Rorippa sylvestris（L.）Besser

富山県魚津市黒沢　水田　標高110m
1997年６月23日
標本番号　TOYA－Sp－53731

帰化。イヌガラシに似るが，葉が羽状に細裂し，茎の基部が長く横臥して発根するなどの特徴で区別できる。魚津市三ヶの早月川堤防でも見ているが，生育量はいずれの場所でも多くはない。

オッタチカタバミ　　（カタバミ科）
Oxalis stricta L.

富山県魚津市釈迦堂　魚津埋没林博物館敷地
標高３m
1997年５月16日
標本番号　TOYA－Sp－53737

帰化。魚津埋没林博物館敷地内の芝生に隣接した砂地に群生していた。同博物館は旧館を取り壊した後の同じ敷地に1992年に新築され，当初は新しく張られた芝生に混入してノハラツメクサ（後に消滅），アメリ

カアゼナ，ウラジロチチコグサ，タチチチコグサなどの帰化植物が生育していたが本種は見られなかった。本種に気づいたのはこれが初めてで，芝張りから3年以上経過しているので，ごく少数の個体から種子繁殖したか，最近になって他の経路から侵入して増えたものと思われる。

なお学名はここでは長田（1976）によったが，大井（1983）あるいは大田他（1983）などでは，類似の在来種エゾタチカタバミにこの学名を採用している。

コナミキ　（シソ科）

Scutellaria guilielmii A.Gray

富山県高岡市伏木一宮　気多神社　標高40m

1998年9月13日

標本番号　TOYA-Sp-53917

タツナミソウ属の多年草で，国内での分布は大井（1983）によれば千葉県南部以西，四国，九州となっている。本来の分布域からは外れているようであるが，生育状態から見て自生しているものと思われる。

なおこの標本には，葉の基部があまり心形にならない，茎の毛が少ない，分果に翼が発達しないなど，コナミキの記載とはよくあわない点もある。また，コナミキの本来の開花時期は5～6月頃と思われるが，今回見た群落では9月に開花中であった。これまでに同属のデワノタツナミソウの群落が秋に開花している例を何度か観察しているので，この属は条件によってしばしば年に2度開花する性質があるのかもしれない。今回はコナミキとして記録するが，再検査が必要とされる。

オオアカネ　（アカネ科）

Rubia hexaphylla（Makino）Makino

富山県魚津市片貝川別又谷　僧ヶ岳林道

標高1000m

1998年7月5日

標本番号　TOYA-Sp-53730

同属のアカネによく似るが，全体が大型で，主茎では葉が6枚（側枝では4～6枚．葉と同形の托葉を含む）輪生するなどの特徴で識別できる。

同年5月31日に僧ヶ岳中腹の池尻の池を訪れた際，沢の登り口近くの林道脇草地で見出した。その時点では生長の初期であったことと，あまり注意を払わず単にアカネの大型の個体と思って見過ごしたが，6枚輪生した葉が印象に残り，後日採集して本種であることを確認した。同様にこれまでにも大型のアカネと思って見過ごした可能性もあるように思われる。

（付記）

本文中，オオフジシダの項でウスヒメワラビに触れたが，県内の分布情報がきわめて少ないので参考のためここにそのデータを書き添えておく。

ウスヒメワラビ　（イワデンダ科）

Acystopteris japonica（Luerss.）Nakai

富山県魚津市片貝川南又谷　右岸蛇石付近

標高650m

1998年6月13日

標本番号　TOYA-Pt-12271

富山市科学文化センターには，富山県宇奈月町欅平（大島哲夫採集）と富山県上市町上市ダム折立（柳沢浩一採集）の2点の標本がある。

文　献

岩槻邦男，1992．日本の野生植物シダ編．平凡社．東京．

光田重幸，1986．検索入門しだの図鑑．保育社．大阪．

大井次三郎（北川政夫改訂），1983．新日本植物誌顕花編．至文堂．東京．

大田弘・小路登一・長井真隆，1983．富山県植物誌．広文堂．富山．

長田武正，1976．原色日本帰化植物図鑑．保育社．大阪．